

総合交通メールマガジン

第98号

平成29年 2月 3日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

Topics

- ◆市原市における交通空白地域対策について
～地域住民との協働による取り組み～

（千葉県 市原市 企画部交通政策課）

総合交通体系グループだより

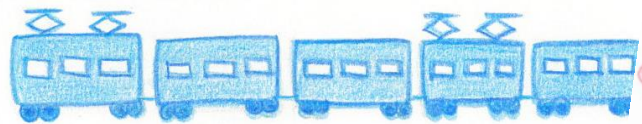
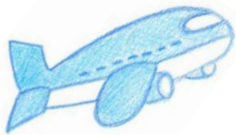
- ◆FF-Data（訪日外国人流動データ）の公表について

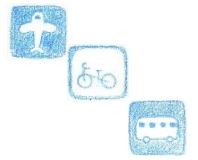
（国土交通省 総合政策局 総務課）

総合交通メールマガジンとは

Infomation

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！





Topics

◆市原市における交通空白地域対策について ～地域住民との協働による取り組み～

(千葉県 市原市 企画部交通政策課)

市原市は、千葉県のほぼ中央に位置し、東京湾に面する北部にはコンビナート群が立ち並ぶ一方、内陸部には多数のゴルフ場があるほか、自然豊かな田園風景も広がっています。

市内には、高齢化が進む内陸部を中心に交通空白地域が存在し、地域住民の移動手段の確保が必要となっていました。そこで、地域住民を主体とし、事業者とも協働して交通政策に取り組むという考えのもと、公共交通空白・不便地域において、地域で設立した住民主体の運営協議会を市がサポートする制度を構築し、運行経費の1/2までを市が補助するなどの支援体制を整えました。

現在、市内の交通空白地域では、コミュニティバスが2路線（あおばす、コスモス南総）、デマンドタクシーも2地区（戸田地区、養老地区）で運行されています。いずれも地域住民が主体となって運営されており、定期的に運営協議会が開催されています。コミュニティバスは、時間帯によって運行ルートを変更するなど、利用者のニーズに合わせた工夫がされています。デマンドタクシーは、事前アンケートでの利用希望者数には届かないものの、徐々に利用者数を伸ばしています。

本稿で紹介する市原市の取り組みは、地域住民が主体となり、関係者と協働しながら地域の公共交通を支えていく仕組みを検討する上で、大きな参考になると思われます。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1702ichihara.pdf>



総合交通体系グループだより

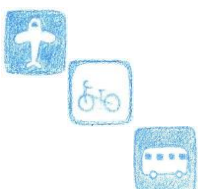
◆FF-Data（訪日外国人流動データ）の公表について

(国土交通省 総合政策局 総務課)

近年、訪日外国人旅行者数が大幅に増加しており、観光施策の立案や旅行商品の企画を行うためには、訪日外国人も含めた旅客流動の実態を正確に捉えることが必要です。

そこで、今般、既存の統計調査で得られた情報の活用により、これまで秋期1週間に限って作成していた訪日外国人流動表を拡充し、訪日外国人の都道府県を越える国内流動に関して、四半期、年間での流動量の分析を行うことができるデータ（FF-Data : Flow of Foreigners-Data、エフエフデータ）を新たに作成・公表しました。

FF-Dataでは、訪問地、国籍、目的、利用交通機関等のクロス分析や周遊に関する分析が





可能です。例えば、訪日外国人の一連の移動や利用交通機関等を定量的に分析することにより、観光戦略を立案する際に対象市場や効果的な連携先等の検討に役立ちます。

《参考資料はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1702ffdata.pdf>

1. 調査の概要

「国際航空旅客動態調査（航空局）」、「訪日外国人消費動向調査（観光庁）」等の調査結果を用いて、統計的な処理を行い、四半期、年間での訪日外国人の国内流動量を推計したデータです。なお、今回は2014年の調査結果を用いて作成したデータを公表しました。

2. これまでの訪日外国人流動表と FF-Data の比較

	これまでの訪日外国人流動表	FF-Data
対象期間	秋期 1 週間	年間（四半期別）
サンプル数	約 15,000 人	約 43,000 人
国籍、目的、利用交通機関等 各属性のクロス分析	分析不可	分析可能
周遊に関する分析	分析不可	分析可能

3. 公表資料

・調査の詳細や集計表については、下記URLにてご確認・ダウンロードいただけます。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000022.html

なお、本調査に関するご不明点やデータのご利用等に関するお問い合わせは、以下のメールアドレス宛てにご連絡下さい。

E-mail : hqt-soukou@ml.mlit.go.jp



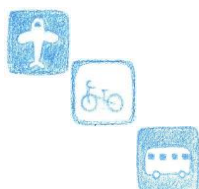
総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html





また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様に広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html

Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、ご意見等頂けると幸いです。下記フォームに入力し、デスクトップ等に保存した上で、hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp までお送りください。ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、パソコンの環境等により不具合が生じた場合は、hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp までご連絡頂けますと幸いです。

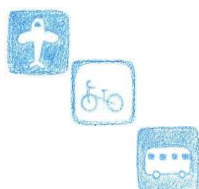
Q. 今回のメールマガジンで配信した記事は関心のある内容でしたか？

記事		非常に 関心 ある内容	関心 のある 内容	あまり 関心 のない 内容
Topics	市原市における交通空白地域対策について ～地域住民との協働による取り組み～			
総合交通体系 グループだより	FF-Data(訪日外国人流動データ)の公表について			

Q. 今後のメールマガジンでどのような情報を配信してほしいですか？

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp





◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 樋口

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：hgt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>



※ 総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました。

